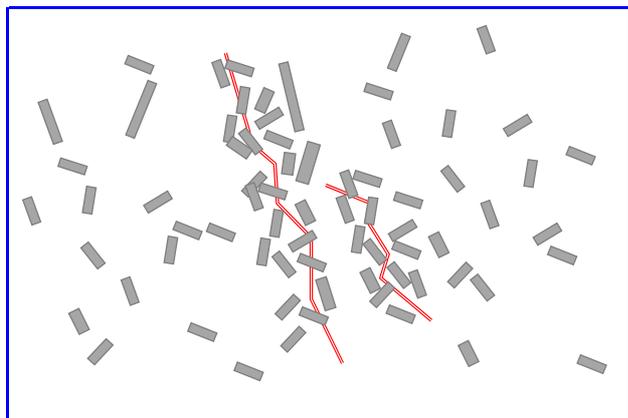


雨漏りストップ材取り扱い説明書 (はじめにお読みください)

(凡例  ひび割れ  雨漏りストップ材)



まず初めに屋上の雨漏りしていそうな場所に重点的にストップ材をまきます。

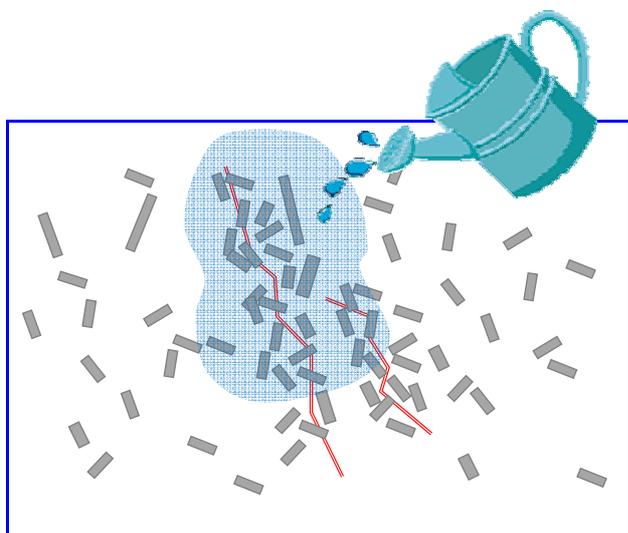
引き続きそれ以外の場所にもストップ材をまきます。

目安として m^2 当たり最大1kg程度。

ポイント！

まくタイミングは、雨が降り始める直前がベストタイミングです！

上記のタイミングでまければ、～は必要有りません。

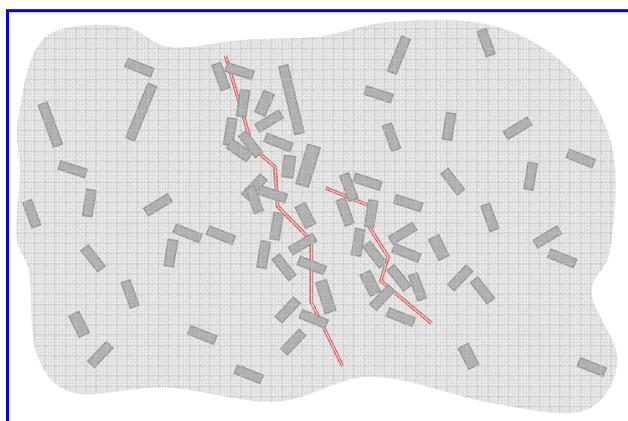


ストップ材がまき終わったらジョウロ等により少しストップ材が溶け出す位水を掛けます。

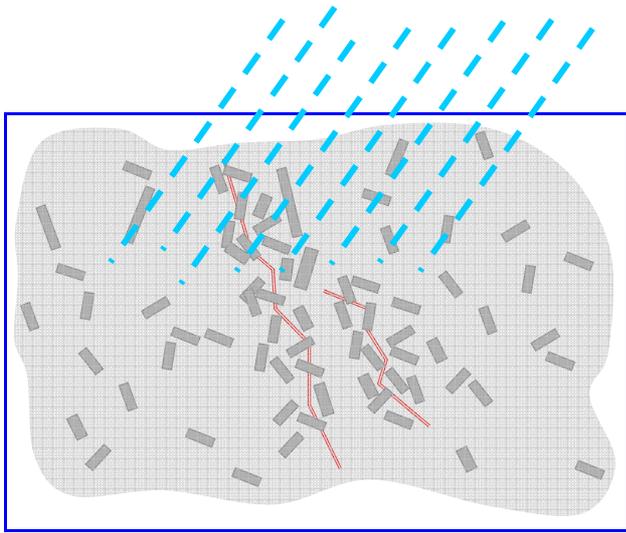
ポイント！

余り大量の水で掛けない事。

目安は、ストップ材が風などで転がらなく成る位が良いです！



水を掛け終わったら雨が降るまで待ちます。

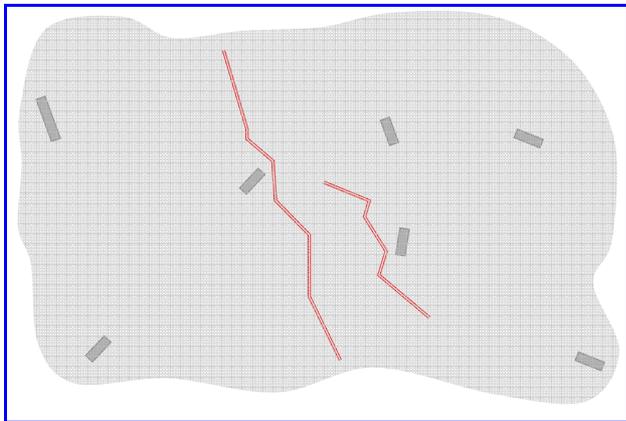


いよいよ雨が降ってきました、そのまま様子を見ます。

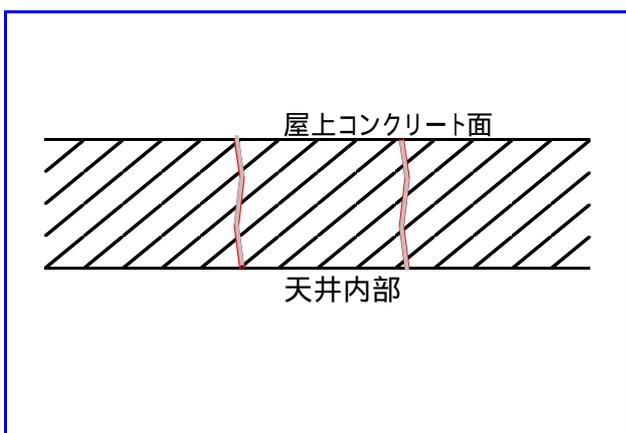
室内の雨漏りをしている場所から白く濁った雨漏りが確認出来たら、ストップ材を追加してまきます。

注意！

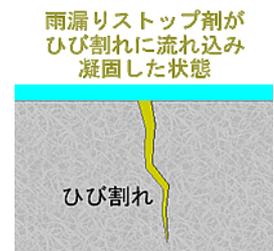
・溶け出したストップ材が室内の物を汚す恐れが有る為養生を行うか、バケツ等により養生を行って下さい。



雨が止み屋上のストップ材は溶けて形が無くなった状態になります。



今までの事を繰り返すことによりコンクリートのクラック(ヒビ)の中に詰まり雨漏りが止まります。



雨漏りストップ剤がひび割れに流れ込み凝固した状態

【注意点・免責事項】の再確認表記です。

本剤は、雨水にゲル状に溶解しコンクリートひび割れに浸透し効力を発生します。

雨漏れのしみと同様に、建物を汚します。(初期には雨水が止まるまで本材が流れ下ります。)

溶解した屋上の本剤も清掃いただくまではそのままです。

ご購入にはご利用了解免責事項をお読みいただき了解頂きご注文いただいたものと判断させていただきます。

ご利用了解免責事項

品名:「 雨漏りストップ材 」

本品は、細粒化され、かつ、粘着力のある自然の粘土質を主成分とし、その性質を生かしています。コンクリート・スラブの細かな亀裂に、雨水とともに進入し、亀裂を浸透通過中に凝固固形化され、以降の雨水の浸入を食い止める目的で開発されました。さらに、本製品は、一次浸透での凝固固形化後の再亀裂にも、再び溶解し、亀裂を塞ごうと、二次三時の浸透を行います。

前述の効果の始めには、本製品を含む雨水の亀裂通過による雨漏りが起きます。

また、亀裂の大きさ・幅が、本製品の凝固許容範囲を超えた場合には、雨水の浸入を防ぐことが出来ない場合があります。また、寒冷地等の凍結による亀裂の拡大、もしくは、その他の事由により、亀裂が再発した場合にも、雨水の進入を防げない場合があります。

該当箇所以下の天井裏・物品を汚す場合がありますので、ご利用の際には、ご注意頂く必要がございます。

本製品のご利用により生じた損害の補償を、弊社としましては一切行いません。

ご了解を賜われますようお願い申し上げます。

2008年8月1日
株式会社ティーシージャパン